

# がんと診断されたときからの緩和ケアを 推進するための看護教育・研修の あり方について

緩和ケア推進検討会

構成員 松月みどり

(公益社団法人日本看護協会 常任理事)



公益社団法人 **日本看護協会**

Japanese Nursing Association

# 背景・緩和ケアの現状

- がん治療の多様化に伴い、がん看護に携わる一般の看護師たちのケア内容も非常に多様化している。
- こうした中、看護師には、がんの診断、治療、療養のあらゆる過程において、
  - ・患者のQOLの維持・向上を図る質の高い緩和ケアや
  - ・患者の尊厳ある人生の最期を支える終末期のケアを提供することが求められている。
- しかし、緩和ケアに関する教育は、現行の基礎教育では不十分であり、新人看護職員研修、継続教育などは実施される教育が均一化されておらず、教育の体制も整っていない状況にある。
- また、がんと診断されたときからの緩和ケアは、未だ十分にがん医療に浸透していないため、本検討会では「緩和ケアセンター構想」について議論され、緩和ケアの提供体制の充実やアクセスの改善に向けて見直しが進められている。

# 緩和ケアに関わる看護教育・研修の現状

## ▶ 日本看護協会

### ○がん看護領域の資格認定者

-がん看護専門看護師;	432名	
-緩和ケア認定看護師;	1,288名	
-がん化学療法看護認定看護師;	1,005名	
-がん性疼痛看護認定看護師;	631名	
-乳がん看護認定看護師;	187名	
-がん放射線療法看護認定看護師;	103名	合計3,646名(2013年5月7日時点)

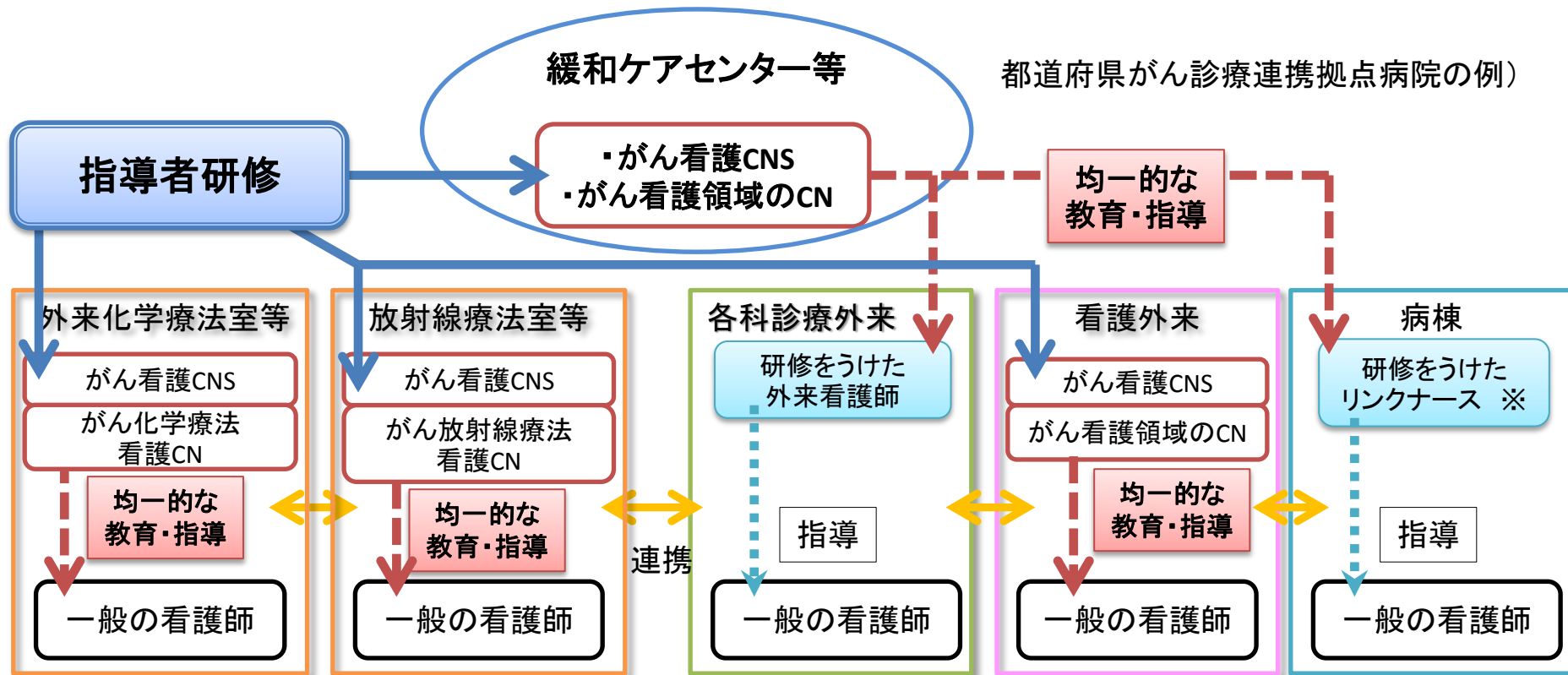
### ○一般看護師の緩和ケア教育

- ・平成10年度～「緩和ケアナース養成研修」を開催(詳細は別紙1を参照)
- ・継続教育として、年に2回100名程度の単発の緩和ケア研修を実施

## ▶ その他

- ・日本緩和医療学会などが厚労省の委託をうけて指導者研修や緩和ケア研修会を実施
- ・専門分野(がん・糖尿病)における質の高い看護師の育成(厚労省の都道府県補助金)
- ・各医療機関が、院内教育として緩和ケアに関する研修を企画・実施(別紙2 参照)

# 看護師の効果的な緩和ケア教育・研修について



※ リンクナースとは、専門チーム等と病棟等とを繋ぐ役割を担う。病棟等でスタッフの指導、理解などを高め実行を促し、またチェック機能も果たす。

- 「がんと診断されたときからの緩和ケア」に関する知識・技術を広く普及し、ケアを提供するには、
- ▶ 緩和ケアに関する適切な知識と技術をもとに教育・指導を行える指導者の育成を行うことが必要である。
  - ▶ 指導者は、特にリンクナース、外来看護師が各部署において一般の看護師への指導が行えるよう、均一的な教育・指導を行ない、がん看護全体の実践力を高めることが求められる。

## ■ 目的および実施概要

緩和ケアに関する適切な知識と技術をもとに教育・指導を行える指導者を育成し、  
がんと診断された時からの緩和ケアの充実を図る

- ①がん拠点病院における看護師を育成するための指導者研修会用教材を作成
- ②作成した教材を用いた指導者研修会を実施する

## ■ 実施体制

- ・本会内に特別委員会(有識者で構成)を設置し、指導者研修会用教材を作成する

## ■ 指導者研修会の開催

- ・対象者;がん拠点病院に就業するがん看護領域における専門看護師ならびに認定看護師の認定を受けた看護師

## 緩和ケア研修の普及にむけた院内教育体制の整備の必要性について

- ・院内で、緩和ケアに関する教育を行えるよう十分な指導者を確保し、指導者が協働して効果的な教育プログラムを実践できる環境を整えることが重要である。
- ・「がんと診断されたときからの緩和ケア」をすべての患者に確実に届けるために、指導者(専門看護師、認定看護師)が、一般の看護師にむけて効果的な教育・指導を行えるよう、各がん拠点病院は責任をもって、院内教育体制を整備することが求められる。
- ・国は、がん拠点病院が看護師の研修に関する必要な研修体制および研修環境を確保等できるよう、必要な施策を講ずることが求められる。

## ナースのためのホスピス緩和ケア研修(日本看護協会)

- 「緩和ケアナース養成研修」は、平成10年度から日本財団の助成をうけて、がん終末期患者におけるホスピスケアの長期研修として、日本看護協会で4年間実施された。平成14年度からは、同じく日本財団の助成をうけて実地研修のみ実施していた笹川記念保健協力財団との共同開催となり、看護研修学校(前:看護教育・研究センター)、神戸研修センターで、第1部講義(16日間)、第2部臨地実習(15日間)、定員50名研修を、開催してきた。平成22年より改訂版カリキュラムを導入し、研修名を「ナースのためのホスピス緩和ケア研修」に変更。受講者は平成14年~11年間で1000人以上。看護職の研修機会の多様性なども鑑み、平成24年度で終了予定。

### <目的>

死にゆく過程を生きる人とその家族へのケアの質の向上を目指して、ホスピス緩和ケアの基本と実際について学び、様々な場でホスピス緩和ケアを実践する看護師を育成する。

### <目標>

- 1) ホスピス緩和ケアの基本理念とトータルペインに基づくケアのあり方を理解する。
- 2) 死とそれを取り巻く現状と課題について理解する。
- 3) 終末期の症状マネジメント能力を高める。
- 4) 死にゆく過程を生きる人とその家族の心理を理解し、心理状況に応じた対応とコミュニケーション方法を学ぶ。
- 5) さまざまな場におけるホスピス緩和ケアの特徴について理解する。
- 6) ホスピス緩和ケアにおける倫理的課題を理解し、その課題の検討方法を学ぶ。
- 7) 講義、演習、事例検討、実習を通じて、知識をホスピスケア、緩和ケアの看護に統合する思考および実践過程を学ぶ。

**<研修期間> 第1部講義16日間 + 第2部臨地実習15日間(講義終了から5か月以内) 定員:50名**

**<受講条件>** 対象:ホスピス緩和ケア病棟、一般病棟、病院・診療所の外来、在宅、病院以外の高齢者福祉施設等で、死にゆく過程を生きる人とその家族への看護に携わっている看護師  
看護師実務経験:3年以上、所属先上司の推薦が得られていること

## 平成25年度 緩和ケア関連研修（日本看護協会神戸研修センター）

### ■研修名A：がん終末期における緩和ケア

- 目的：がん終末期に出現する症状を理解し、緩和ケアの視点を中心に根拠に基づいたアセスメント、症状に対応する治療とケアについて学ぶ
- 内容：がん終末期に出現する主な症状と病態生理／症状のアセスメントと主な治療／看護の実際
- 定員：100名、
- 日数：2日間

### ■研修名B：がん終末期における緩和ケア（疼痛編）

- 目的：がん終末期に出現する疼痛に焦点を当て、病態生理や使用する薬剤の作用機序などについて理解を深め、疼痛緩和の実際について学ぶ。
- 内容：痛みの分類／痛みの病態生理／主な鎮痛剤と作用機序／看護の実際
- 定員：30名
- 日数：1日
- 要件：上記研修Aの修了者

日程	No	時間	対象	内容	講師職種
4月	1	8	新人	就任時集合研修Ⅰ:看護部オリエンテーション	看護師
	2	8	新人	就任時集合研修Ⅰ:看護部オリエンテーション	看護師
	3	8	新人	就任時集合研修Ⅰ:看護部オリエンテーション	看護師
	4	1	新人	就任時集合研修Ⅱ:離脱術訓練	看護師
	5	8	新人	就任時集合研修Ⅲ:感染対策実践研修	看護師
	6	8	新人	就任時集合研修Ⅲ:感染対策実践研修	看護師
	7	7	新人	就任時集合研修Ⅳ:医療情報システム	看護師
	8	7	新人	BLS・輸液管理(知識と技術)	救急科医師ICLSインストラクター
	9	7	新人	BLS・輸液管理(知識と技術)	救急科医師ICLSインストラクター
	10	7	新人	BLS・輸液管理(知識と技術)	救急科医師ICLSインストラクター
	11	7	新人	BLS・輸液管理(知識と技術)	救急科医師ICLSインストラクター
	12	3.5	新人	既卒・ICU・小児対象 シリンジ・輸液ポンプ実技研修	看護師
5月	13	3	新人	医療安全の実際	看護師
	14	3	新人	医療安全の実際	看護師
6月	15	3	新人	ストレスマネジメント・記録	看護師
	16	3	新人	ストレスマネジメント・記録	看護師
	17	7	3年目以上	共通:小児A①	小児看護専門看護師
	18	3	指導者	コーチ③【王チバージョン】	看護師
	19	7.5	2年目以上	静脈注射	看護師
	20	7.5	2年目以上	静脈注射	看護師
	21	1	-	部長講演会	看護師
	22	3	3年目以上	共通:糖尿病①	糖尿病認定看護師
	23	3	管理者	マネージャーコース第1回	看護師
7月	24	3	3年目以上	共通:糖尿病②	糖尿病認定看護師
	25	3	新人	看護必要度研修(既卒・異動者)	看護師
	26	3	3年目以上	共通:小児A②	小児看護専門看護師
	27	3		リーダーシップとメンバーシップ	看護師
	28	3		リーダーシップとメンバーシップ	看護師
	29	1	-	部長講演会	看護師
	30	1	-	輸液ポンプ研修①	看護師
	31	3	指導者	コーチ④【タイムマネジメント】	看護師
	32	3	指導者	コーチ④【タイムマネジメント】	看護師
	33	3	管理者	マネージャーコース第2回	看護師
8月	34	3	新人	多重業務について	看護師
	35	3	新人	多重業務について	看護師
	36	1	-	輸液ポンプ研修②	看護師
	37	3	管理者	マネージャーコース第3回	看護師
9月	38	1	-	輸液ポンプ研修③	看護師
	39	3	新人	輸血管理・薬剤管理	看護師
	40	3	新人	輸血管理・薬剤管理	看護師
	41	1	-	輸液ポンプ研修④	看護師
	42	3	管理者	マネージャーコース第4回	看護師
10月	43	1	-	輸液ポンプ研修⑤	看護師
	44	3	3年目以上	共通:感染管理①	感染管理認定看護師
	45	7	3年目以上	共通:慢性疾患看護①	慢性疾患看護専門看護師
	46	3	3年目以上	共通:がん・化学療法①	がん化学療法認定看護師
	47		師長	師長研修会	看護師
	48	1	-	輸液ポンプ研修⑥	看護師
	49		新人	看護必要度	看護師
	50	1	実践成果	第1回	看護師
	51	3	3年目以上	共通:小児B①	小児看護専門看護師
	52	3	指導者	コーチ⑤【セルフマネジメント】	看護師
	53	3	3年目以上	共通:がん看護①	がん看護専門看護師
	54	3		チーム医療の推進に必要な看護スキル第1回	看護師
	55	1	-	輸液ポンプ研修⑦	看護師
	56	3	3年目以上	共通:感染管理②	感染管理認定看護師
	57	3	管理者	マネージャーコース第5回	看護師



日程	No	時間	対象	内容	講師職種
11月	58	7	3年目以上	共通:慢性疾患看護②	慢性疾患看護専門看護師
	59	3	2	アサーティブコミュニケーション(上級編)	看護師
	60	1	-	輸液ポンプ研修⑧	看護師
	61	7.5	2年目以上	静脈注射	看護師
	62	7.5	2年目以上	静脈注射	看護師
	63	3	新人	褥瘡予防とスキンケア・串年間振り返り	皮膚排泄ケア認定看護師
	64	3	新人	褥瘡予防とスキンケア・串年間振り返り	皮膚排泄ケア認定看護師
	65		主任	主任研修会	看護師
	66	3	2	アサーティブコミュニケーション(上級編)	看護師
	67	1	実践成果	第2回	看護師
	68	1	-	輸液ポンプ研修⑨	看護師
	69	7	3年目以上	共通:小児B②	小児看護専門看護師
	70	7	3年目以上	共通:がん・化学療法②	がん化学療法認定看護師
	71	3	3年目以上	共通:がん看護②	がん看護専門看護師
72	3	管理者	マネージャーコース第6回	看護師	
73	3	3年目以上	共通:WOC A(排泄ケア)①	皮膚排泄ケア認定看護師	
12月	74	3	3年目以上	共通:看護研究①	医療看護学部
	75	3		看護倫理①	看護師
	76	1	-	輸液ポンプ研修⑩	看護師
	77	1	実践成果	第3回	看護師
	78	3	新人	身体抑制・放射線療法	看護師
	79	3	新人	身体抑制・放射線療法	看護師
	80	3		看護倫理②	看護師
	81	3	3年目以上	共通:WOC A(排泄ケア)②	皮膚排泄ケア認定看護師
	82	3	3年目以上	共通:呼吸ケア①	重症集中ケア認定看護師
	83	7	3年目以上	共通:WOC B(創傷ケア)①	皮膚排泄ケア認定看護師
	84	7	管理者	マネージャーコース第7回	看護師
1月	85	3	3年目以上	共通:看護研究②	医療看護学部
	86	1	-	輸液ポンプ研修⑪	看護師
	87	1	実践成果	第4回	看護師
	88	3	新人	看護倫理①	看護師
	89	3	3年目以上	共通:呼吸ケア②	重症集中ケア認定看護師
	90	3	3年目以上	共通:WOC B(創傷ケア)②	皮膚排泄ケア認定看護師
	91	3	新人	看護倫理②	看護師
	92	3		チーム医療の推進に必要な看護スキル	看護師
	93	3	管理者	マネージャーコース第8回	看護師
2月	94	8		静脈注射	看護師
	95	8		静脈注射	看護師
	96	1	実践成果	第5回	看護師
	97	3	新人	1年間の振り返り	看護師
	98	3	新人	1年間の振り返り	看護師
	99	3	管理者	マネージャーコース第9回	看護師
	101	3	指導者	コーチ①(新人看護師教育支援)	看護師
3月	102	1	実践成果	第6回	看護師
	103	1	実践成果	第5回(2月12日の振り替え日)	看護師

…がん看護に関する研修